

平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	西児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市鏡島南2丁目8番40号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,839,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造3階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,604.32㎡ ◇延床面積:468.22㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、おもちゃ図書館、静養室兼相談室、事務室、駐車場(西部体育館駐車場と共有) ※岐阜市西部体育館との合築		

●利用状況

		H29上半期	H28下半期	H28上半期	H27下半期	H27上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	13,418	14,934	16,927	13,566	16,136
	移動児童館利用者数	777	436	1,226	486	1,300
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	7	5	10	11	11
	開館日数(単位:日)	157	151	157	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①及び⑤計画通り実施した。 ③児童センターのおたより「あそびっこ(児童用)・すくすく(幼児用)を地域小学校、保育所に配付。また地域の保健センター、公民館等に掲示依頼する。 ④苦情、クレーム等については、その都度対応するとともに職員間で検討した。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、③適切に実施した。 ②施設内外に害虫等が発生の際は速やかに駆除。 ③各部屋を頻繁に見回り、利用者不在時の消灯。また事務室の消灯等、節電・節約に努めた。 ④行事活動において、再利用可能な用紙、段ボール、布等は活用するよう努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②修繕を要する事態が生じた場合は迅速に対応する。大規模な修繕については、指定管理者(本部)及び市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って、適切に実施した。 ②西部体育と合同で、消防訓練を1回実施した。また児童センター単独で必要に応じ避難訓練を実施した。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 平成29年9月 幼児クラブに参加した保護者62人に無記名方式にてアンケートを実施 【利用者アンケート】 平成29年9月 一般の来館者71人(男性7人・女性64人)に無記名方式にてアンケートを実施 【児童用アンケート】 平成29年9月 児童センターを利用する児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答数 28人(1年 3人、2年 3人、3年 3人、4年 3人、5年 4人、6年 4人、中1 5人、中2 3人) (男子16人、女子12人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 ○西の幼児クラブ(児童センター主催)を何で知りましたか センターに遊びに来ていて37人、チラシ10人、友人からの紹介9人、インターネット4人 他 ○どの幼児クラブに参加しましたか ありんこクラブ32人、ぱんだクラブ28人、パパさんクラブ2人、ひよこクラブ11人、ころちゃんクラブ22人、 こあらクラブ28人、はいたっちクラブ1人 ○お子さんにとって幼児クラブはどうでしたか？ 良かった38人、まあまあ良かった23人、普通1人、あまり良くなかった1人、良くなかった0人 <良くなかった理由>子どもが人形劇に興味が無かったようで、他の遊びに行ってしまった。 ○お母さんにとって幼児クラブはどうでしたか？ 良かった51人、まあまあ良かった11人、普通0人、あまり良くなかった0人、良くなかった0人 ○職員の接し方はどうでしたか？ 良かった57人、まあまあ良かった3人、普通2人、あまり良くなかった0人、良くなかった0人 ○幼児クラブに参加して良いと思った点は何ですか？ ・色々な情報が聞けた、・お友達ができた、・他のお母さんと仲良くなり、いろいろな話ができる ・ふれあい遊びのレパートリーが増えた ・家でできないことができた ・知らない遊びがあった 他 【利用者アンケート】 ○職員について あいさつ 満足64人、ほぼ満足7人、やや不満0人、不満0人 言葉づかい 満足65人、ほぼ満足6人、やや不満0人、不満0人 対応 満足67人、ほぼ満足4人、やや不満0人、不満0人 ○施設について 整理整頓 満足60人、ほぼ満足10人、やや不満1人、不満0人 使いやすさ 満足55人、ほぼ満足13人、やや不満3人、不満0人 ○お子さんの好きな遊びは何ですか。 シルバニアと家、プラレール、エコポニー、大きな車、ぬりえ、レジ、大きなふうせん、ボールプール 他 ○児童センターにあるといいなと思うおもちゃは何ですか。 アンパンマンのおもちゃ、シルバニア、ドレス、男の子の衣装、知育玩具、トランポリン、鉄棒、砂場 ○お子さんに体験させてみたいこと。(幼児向け・小学生向け・中学生向け等) 将棋、キャンプ、一人でお買い物、クッキング、泥んこ遊び、手先を使う遊び、簡単な工作 ○保護者の方がやってみたいこと。 ヨガ、クッキング、バランスボール、親子でリズムあそび 【児童用アンケート】 ○児童センターの楽しかった行事は。(複数回答可) ドッジボール25人、卓球22人、夏祭り11人、オセロ大会4人、おばけ屋敷7人 等 ○児童センターでよく遊んでいる遊びは。 卓球、ドッジボール、トランプ、ウノ、フラフープ、レゴ、ドミノ、野球盤 ○児童センターでやってみたい行事・遊びは。 バスケ、ハロウィン、ゲーム、鬼ごっこ、運動会、将棋、オセロ大会、チェス ○流行っている遊びを教えてください。(TVゲーム以外) 鬼ごっこ、トランプ、格闘技、太鼓の達人、ダンス、ドッジ、替え歌、卓球 ○習い事に通っている人は、何を習っているか。 スイミング、英語、学習塾、ダンス、バレーボール、ソフト部、音楽部</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>【利用者アンケート】<やや不満の理由> ・要望⇒回答 ・玩具を出しっぱなしにして、いなくなってしまう人がたまにいる。(保護者同士が、話に夢中になり、見えない。) ⇒ (回答)部屋の様子をみて、声掛けをしていきたいと思います。 ・駐車場が、共同になっていて、大会等体育館の利用が多い時、停めれず帰ったことがある。 ⇒ (回答)満車の場合は、センター敷地内に、入れていただきますので、声をかけてください。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	B	B
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	B
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>○平成29年度運営委員会でのあらたな試み ・今年度6月に開催した議題の中で、「児童センターの遊び体験」を加え、児童センターで人気がある遊び、「ドッジボール」をテーマとして取り入れ、出席された運営委員メンバーに体験していただき、皆さん童心に帰り楽しまれ好評を得た。 ○利用者(母親等)の資格、特技の発掘、及び妊婦を交えたサロン等の開催 ・利用者(母親等)の中に、子育てに関する知識や資格、特技を有する方を掲示、または口コミ等で募集を行い、結果としてリトミック3回、スキンシップタイム6回、エアロビクス6回等を実施することができた。 ○児童クラブの実施 ・今年度あらたにチェスクラブ(講座)を設け開催し、講師の先生を迎えチェスの基本的なルールから学び、親子を含め多くの参加者で賑わった。 ○安全対策の実施 ・センター内外を頻繁に見回り、地震発生時による落下物を防止するため、おもちゃの棚、本棚等の整理整頓をこまめに行っている。また小学生、中学生を対象とした地震による避難訓練では、現状の避難姿を確認することができた。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○あらゆる面で、事業団職員研修会、また児童館・児童センター職員研修会等を情報交換の場として、引き続き参考となる行事、また問題点等を職員間で検討している。 ○人気を博す行事による駐車場不足は、地域の会社に前もってお願いしてお借りする許可を得ている。ただ土曜日、日曜日に関しては、西部体育館で開催される各種大会やイベントと重なり、まれに駐車場不足が発生するため、岐阜市教育委員会を通じ対策を依頼している。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○引き続き、利用者に安心・安全な施設として利用していただくため、センター内外の遊具、玩具等の点検実施、また衛生面での消毒等の管理を頻繁に実施する。 ○下半期に向け、音楽を専門とする高校教師をボランティア講師として迎え、コーラスクラブを立ち上げる。</p>

●所管課の意見

<p>毎月の児童センターのおたよりを担当小学校・保育所へ配布し、公民館、保健センター等へ掲示依頼を行うなどの広報活動を行った。 今期利用者数(児童館担当地区の人口増減率で補正後)の実績は、対直近3年の平均比85.1%のため、「利用促進、利用者増の方策」についての評価をBとした。 移動児童館は上半期7回の開催で、仕様書による目標数値の24回/年(2回/月)の達成度は上半期中では下回っているため、数値を達成するよう下半期努力して頂きたい。 児童センターの利用者や口コミにより、資格や特技を持っている方への新規講座開設の依頼を積極的に行っており、今期は新たに「リトミック」(3回)、「スキンシップタイム」(6回)、「エアロビクス」(6回)などを実施した。 NPO法人を通じて障がいのある若者を児童センターのボランティアとして受け入れる活動を継続するほか、地域の小・中・高校からなる協議会(五校連絡協議会)に参加し、地域の事故や事件を話し合うことにより情報交流するとともに地域との連携を深めた。 今期台風の接近が相次いだが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。 職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>利用者が自ら講座を開催するなど児童センターが活躍の場の提供を行うことは、市民の生きがい、やりがいや、地域の活性化にもつながると考えるため、今後も継続して頂きたい。 他の児童館で行っている父親向けの子育て支援事業は、父親の育児参加を積極的に促す取組みとして非常に有意義であると考えられることから、今後積極的に他の児童館でも取り入れて頂きたい。 管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--